

中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会  
情報・技術ワーキンググループ(第6回)

意見

田中沙弥果

<資料 2-3>

世界経済フォーラムの年次総会(通称ダボス会議)で、世界ではじめて AI 教育を義務にした UAE の教育大臣に質問する機会がありました。

大臣との質疑で、AI 教育において大切なのは、技術が急速に変わっていく中でも学び続ける資質能力は 3 つの観点が必要で、それは適応力、レジリエンス、批判的思考ということ聞き、確かに、と思いましたので、AI 教育の議論においてはソフトスキル面の育成も同時に重要であることを考慮していただきたいです。

資料 2-3、p.5,6 の内容で、果たして学びに向かう力・人間性のソフトスキルが育まれるのか疑問です。

最低限、具体的に小中高の学習内容などに落とし込むときには、この観点で点検をお願いしたいです。

また、参考資料にある「AI 技術が既存のリスクを増幅させる具体例」や「AI に関するリスクや懸念に関する学術研究の例」はぜひ中学で扱って中学生が判断力・吟味力がつくようにしてほしいです。

また、「適切な取り扱い」については、「AI によって今までできなかったことができる・自らものづくりがしやすくなる」というような、可能性を感じさせるような文言も追加いただきたいです。

なお、p.2 に「また、生成 AI を含む AI 技術は、人間の能力を補助・拡張し、可能性を広げてくれる有用な道具で」とありますが、もしかしたら人間の能力を拡張するだけではなく、「AI が AI システムを構築する」、つまり道具が道具を生むかもしれないという認識ももってよいかと思いました。